



企業インタビュー Vol.2

# interview

## 株式会社 石山生産獣医科 代表取締役 石山 大氏

### Company Profile

業種 サービス業	住所 松戸市	従業員数 1人
創業 4年	CSR活動 保護猫ハウス	活用支援 助成金 専門家



▲ 代表取締役 石山 大氏（往診先の牧場にて）  
支援当時はお聞きできなかった様々なことを今回のインタビューを通して教えていただきました。

## 酪農業界長年の「あったらいいな」を実現

生産獣医師が開発した、牛の遠隔健康管理サービス ~データに基づく提案で安心・安全~

# 01 株式会社石山生産獣医科について

アニマルサイエンスの力で人と動物の関係に新たな価値を

事業内容について、お聞かせいただけますか？

当社では、「動物病院（獣医師）」、「遠隔健康管理サービス：MILook」、「譲渡型保護猫カフェ：保護猫ハウス ろくねこ」、「獣医学的研究」の4つの事業を行っています。例えば、獣医師としては、牛の診察や繁殖検診、牛の餌の配合等の栄養管理を行い、CSR活動として保護猫を扱う猫カフェの経営をしています。

独自システムである「MILook」について詳しく教えてください。

牛の栄養状態や健康状態を遠隔でモニタリングし、最適な飼料設計や飼養管理についての提案・助言を行うサービスをシステム化したものが「MILook」です。健康管理自体は従来から行われてきましたが、その管理

をシステム化させることで、効率的な飼料設計ができ、容易に管理が行えるようになります。ありそうでなかった、「あったらいいな」を実現させたシステムです。

獣医師として活動する中で、体調の優れない牛の診察や治療も重要ですが、その前段階となる予防的措置が最も大切だと考えています。

牛は犬や猫とは違い、飼い主が病院へ連れて行くことができないため、獣医師が直接牧場まで足を運ぶ必要があります。しかしこの「MILook」があれば、遠方にある牧場に対しても、特に重要となる「予防」という観点から、栄養管理や健康管理に関する提案・助言を行うことが可能です。



▲ 「MILook」の概要図  
（今回のインタビューに基づいて事務局で作成）

## 02 獣医師を目指した経緯

### 最初のきっかけは当時一大ブームの「アレ」

獣医師になろうと思ったきっかけを教えてください。

きっかけは、学生時代、当時一大ブームになっていたプレイステーションの『ダービースタリオン』です。これが流行っていて、「騎手や調教師になりたい」という話題で盛り上がっていました。騎手は視力が悪くなれなかったため、馬に何か関わることができないかな、と考えていたところ、友達から「獣医師っていうのがあるらしいよ」という一言があり、そこで獣医師というものを知ったことがきっかけです。最初から獣医師を目指したいと考えていたわけではありませんでした。

そこから先は、動物の行動学も面白そうだし、動物に関わる勉強や研究をしたいと考えていました。今考えると、理学部や畜産学科といった、様々な選択肢もありましたが、あまり調べもしないで、「獣医学科に行けば、動物に関われるし、勉強も



▲ 往診先の牧場にて、牛の餌の配合についてなどとても丁寧に教えていただきました。

できるらしい…」っていうところで選んでしまいました。幼い頃から、深い志があったわけではなく、この世界に入って今に至ります。一言でいうと、**ゲーム仲間の影響**ですかね(笑)。

なぜ、牛専門の獣医師になったのですか？

獣医師にも色々ありますが、**食べ物を作る**っていうところに興味がありました。馬、牛、豚と一通り在学中に学び、その中でも、北海道に行けたり、獣医師の下で手術の手伝いをさせてもらったり、ダイナミックな体験を牛でさせてもらい、それが面白かったことが理由です。



▲ 代表取締役 石山 大氏 (左)  
往診先の牧場従業員の方 (右)

## 03 譲渡型保護猫カフェの運営

### 保護猫ハウス「ろくねこ」での地域社会問題への取組

牛専門の獣医師として活動する一方で、猫カフェをなぜ始めたのですか？

開業後、動物病院って事業名だけで、「あそこに野良猫がいて…」とか、猫や犬に関する様々な**地域の声や相談**が来るようになりました。その対応をしているうちに、「牛専門の僕じゃわからんぞ」みたいなところが徐々に出てきました。一方で、妻は動物の行動学の研究をしていて、猫や犬の問題行動の治療に詳しく、以前から保護猫のカフェを運営したいという想いを持っていました。せっかく石山生産獣医科という動物病院の看板もあり、そこに地域の声も集まってくるし、譲渡型の保護猫カフェ施設を作ろうと決めました。

保護猫はどのように「ろくねこ」にやってくるのですか？

普段は動物愛護センターや市内の保護猫活動家から猫をお預かりしています。保護の理由は、高齢者の飼育放棄、野良猫の保護、多頭飼育崩壊など様々です。時には、直接、捕獲機をしかけて野良猫を保護しています。午前が牛の往診、午後が猫カフェの手伝いや大学での研究活動、その後、**野良猫用捕獲機**をセットといった時期もありました。毎日休まずにフル稼働しています。



▲ 保護猫ハウス「ろくねこ」にもお邪魔しました。R7年1月に開設し、ボランティアの方とも協力しながら常設の譲渡会場として運用されています。



# 04

## (公財) 千葉県産業振興センターの支援

### 創業時の助成金活用と専門家による契約書作成支援

千葉県産業振興センターのどのような支援を活用しましたか？

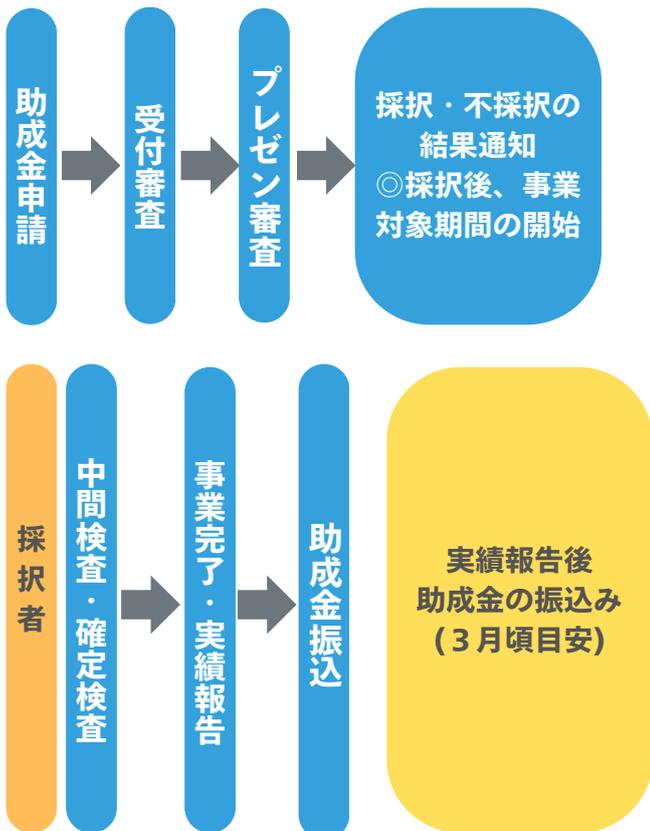
獣医師として活動をする中で「酪農家が利益を出せるよう、牛の生産性向上に貢献したい」という想いがあり、それを実現するために独立をしました。独立するうえで一番課題となるのが、環境整備のための資金作りですが、自己資金や金融機関での融資とは別に、返済をする必要がない「**ちば創業応援助成金<sup>①</sup>**」が活用できたことで、新たな設備（胚の凍結保存化装置）の導入や「MILook」を公開するためのHP制作等、**経費の負担を抑えながら事業に取り組むことができた**ことは大きかったです。

また、CHIBAビジコンでの受賞をきっかけに、千葉県産業振興センターで実施している「**専門家派遣<sup>②</sup>**」制度を知りました。名称だけ聞いてもピンと来なかったため、とりあえず制度について聞いてみましたが、意外と幅広い相談に乗ってもらえることがわかりました。契約書作成に悩んでいた時期でしたので、これは丁度いいと思い、弁護士の派遣を依頼して**契約書の作成に関して助言等**をいただき、無事完成しました。

(公財) 千葉県産業振興センターの支援サービス

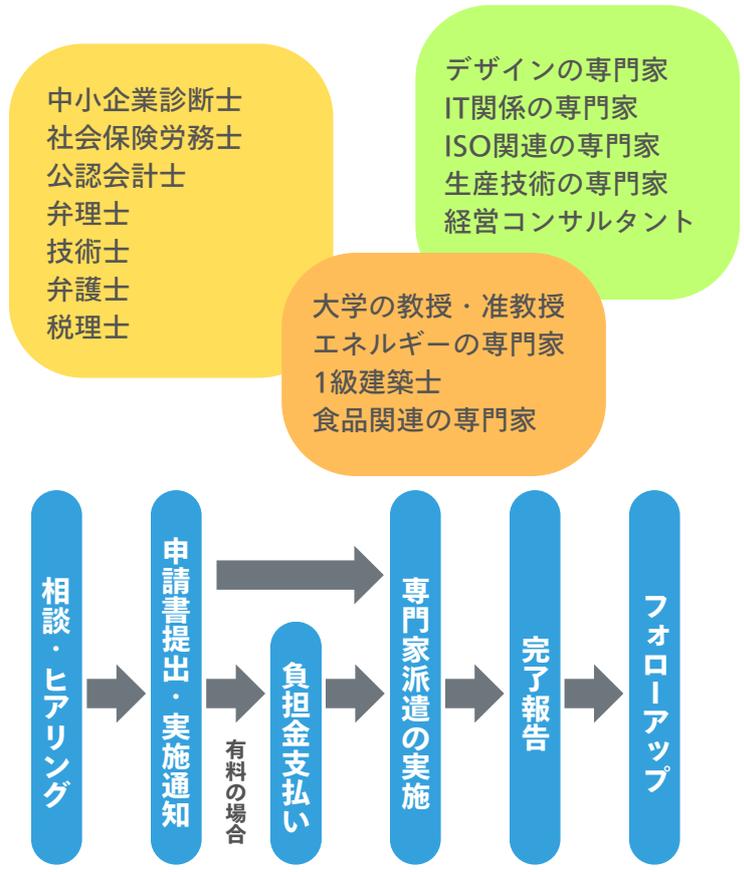
#### ①助成金事業(ちば創業応援助成金)

創業時に必要な費用を助成します



#### ②専門家派遣事業

経験豊富な専門家からアドバイスがもらえます



#### 企業様からのコメント



申請後すぐに助成金をいただけると勘違いをしていましたが、実際は事業報告後の振込でした。でも報告後、思いのほか早く助成金が振込まれたので助かりました。また、専門家派遣事業では、私自身の活動時間が限られる中、オンラインで相談や助言をいただけたことは大きかったです。



# 05 千葉県内の中小企業へメッセージ

最後に、千葉県内の中小企業の皆様へ向けたメッセージがあればお願いいたします。

動物福祉の普及啓発に力を入れて頑張っています。県内企業の皆様、応援・コラボをお願いいたします。

石山社長、ここまでありがとうございました！



▲「ろくねこ」の猫には、その数だけここに来るまでの物語がありました。

### 千葉県産業振興センターコメント

助成金及び専門家派遣事業をご活用いただきありがとうございました。牧場の生産性向上を図るために、牛を管理するための新製品を開発中とのことなので楽しみにしております。製品の販路拡大には市場開拓助成事業（展示会出展助成）がありますのでご活用ください。

## Company Profile

名称	株式会社 石山生産獣医科
創業年月	令和4年1月
代表者名	石山 大（だい）
所在地（登記）	千葉県松戸市新松戸5-59-2
所在地（ろくねこ）	千葉県松戸市新松戸6-68-1 恩田ビル1階
業種	サービス業 ・牛の診察や繁殖検診 ・遠隔健康管理サービス「MILook」等
HP	<a href="https://i-promed.jp">https://i-promed.jp</a>



(株)石山生産獣医科  
代表取締役 石山 大氏

「ろくねこ」では毎月最終日曜日に譲渡会を開催しています。Instagramで情報発信していますので気になったらぜひご来場ください



ろくねこ  
instagram



(株)石山生産獣医科  
HP

## Contact

本記事に関するお問い合わせ・県内企業支援についてはコチラから

### 公益財団法人 千葉県産業振興センター

千葉県産業振興センターは、千葉県や国の中小企業振興施策の実施機関として、中小企業などが抱える売上拡大、技術開発、取引拡大、生産性向上、事業承継、人材採用などの様々な課題解決に対して、豊富な支援メニューでサポートします。お気軽にお問い合わせください。

※千葉県産業振興センターは千葉県商工労働部所管の外郭団体です。



HP

記事の内容に関するお問い合わせ先

総務企画部 企画調整課

千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト23F

☎043-299-2901

✉ [info@ccjc-net.or.jp](mailto:info@ccjc-net.or.jp)

助成金事業に関するお問い合わせ先

経営支援部 活性化支援課

千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト23F

☎043-299-1078

✉ [start@ccjc-net.or.jp](mailto:start@ccjc-net.or.jp)

専門家派遣事業に関するお問い合わせ先

経営支援部 総合相談課

千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブイースト23F

☎043-299-2907

✉ [kigyo@ccjc-net.or.jp](mailto:kigyo@ccjc-net.or.jp)